

情報共有と情報発信について《成功例》

意見のまとめ

成功例

鶴岡の町づくりのNPOで行った「黒板べい計画」。実施日の約1か月前に地元マスコミ各社を活用し、ボランティアの募集とPRを図る。結果、多くの人に参加。予想以上のボランティアの参加者だった。人も集まり、メディアにも取り上げられ、次年の募集もスムーズに行え、一般の人にもNPOの活動が知ってもらえるきっかけとなった。

成功した理由

成功した最も大きな理由は「情報の受け手側の積極性」にあったと思う。

成功例

社内の各工程間で情報共有するため、行程の責任者(係長)を毎朝始業前に集め、朝礼を行うこととし、各工程の情報を伝え合い、各工程間の連携を進められた。

成功した理由

責任者同士が顔を合わせて伝達し合ったことにある。

成功例

仕事での、個人宅への営業の際に、チラシを配布するだけでなく、直接一戸一戸声を掛けて回ると理解してもらえる。

成功した理由

直接話をすることで、疑問点を即座に解消でき、信頼ももらえるため

成功例

ある事業で、グループの統率力がよく、打合せもあまりしなかったが、スムーズにことが運んだ。

成功した理由

トップがいて、そのサポート役が数人いて。普段からコミュニケーションがとれていたため。

成功例

小出沼ファミリー牧場のオーナー制度は参加者が多く、地域の活性化につながっている。

成功した理由

入牧式、終牧式の年2回の懇親会や肉1kgの提供など、オーナーとなる魅力づくりと情報発信力の質の高さ

成功例

東日本大震災時の南三陸町への支援としてのおにぎり提供の際、協力を呼びかけた人たちから多くの協力を得られた。

成功した理由

甚大な被害がマスコミを通じて認識され広がりを持ったためと、組織を活用した情報の伝達

成功例

「がん検診を進める」ため、直接伝えたいことを相手にダイレクトに話すことも大事だが、子どもを通して伝える手法を用いたこと。小学校の子供たちのがんの話、検診の重要性を話し、それを家に帰って親に伝えてもらう手法《パンフレットも》

成功した理由

子どもへの教育にもなる。行政から進められるより、わが子から言われたほうが、受信する気持ちが高まるのではないかと。ただし、子どもがしっかり親に話したかどうか(伝わり方も)は個人差がある。

成功例

学校の連絡網は、最近個人情報の関係で難しくなっている。そのため、親の携帯メールを学校に登録すると、連絡したい事項は一斉送信されるため確実に伝わる。

成功した理由

※ただし、携帯、パソコンがない場合は情報をどう正しく伝えるのか。

情報共有と情報発信について《失敗例》

意見のまとめ

失敗例

ある事業に携わった際、情報を持っている人が、その情報を自分だけのものとし、周りに伝えなかったため、進行が滞った。

失敗した理由

情報が一人だけのものとなり、全体化しなかったため。

失敗例

あるイベントの撤収作業の際、作業を終えた人から反省会に突入。まだ作業を終えていない人から不平不満が多く出た。結果、次年度から業者に頼む事になった。

失敗した理由

役割分担はできていたが、他の作業を手伝うことがなかった。それぞれの団体から人が集められていたために、段取りなどの情報が伝わりきれいでなかった。

失敗例

自治会内の情報は広報を通じて共有・発信されているにもかかわらず、自治会内のコミュニティがうまくいっていない。

◎基礎単位の自治会での広報紙を発行すること自体は、共通の話題を住民に投げかけるいい事例だと思っている。

失敗した理由

他人の事には無関心になっている。

失敗例

消防の操法大会の際、ある指導者の下、忠実に練習を重ねミスなく大会本番を終えたが、その指導者の知識自体が誤ったもので点数が伸びなかったこと。(誤った技術を正しいものと信じて完ぺきにこなした。)

失敗した理由

指導者間の正しい操法の震災技能、知識の共有の欠如

失敗例

先日、自宅周辺一帯が断水となった際、なぜ断水になったか、どう対応すればいいのかが、情報として伝わってこなかった。

失敗した理由

防災無線や広報車により広報をしていたが、防災無線は聞きづらく、広報車は走るのが早く聞こえなかった。

失敗例

自分が情報を入手したい内容をメールで定期的に配信してもらっているがいくつかあるが、過剰にメールが配信され收拾がつかなくなっている。

失敗した理由

自分が必要な情報と不要な情報をきちんと自分で整理、監理する能力が不足しているため。情報管理能力を身につけるため、訓練する機会が必要なこと。情報提供する側も、一方的で独りよがりな感覚で発信しない配慮(相手の立場に立つこと)が必要。

失敗例

同じ内容の案内などでも、受け手によって理解の度合いが違う。くわしければいいのかというと、字ばかりでは読みにくく、簡単すぎると正しく伝わらないこともある。

失敗した理由

重要なことだけはしっかり大きく。

失敗例

本人不在のため、家の人(高齢者)に案内文書を渡したが、伝わっていなかった

失敗した理由

直接相手に情報を伝えなかったことと、伝えた相手が高齢者だったこと。

失敗例

町民全体に関わる期日が決まっていた内容の情報が、期日ぎりぎりでの情報の提供となり、混乱したことがあった。

失敗した理由

情報を発信するタイミングを誤ったため。

失敗例

課や係内の職員間の情報共有する際、個々でそれぞれに伝えあうときちゃんと伝わらないことが多いことと、時間が無駄になること。

失敗した理由

改善策として、全員がいるときに、しっかり正しい情報を口頭だけではなく、ペーパーに落とししたものを準備して行う。

失敗例

イベントなど、期限を設けた申し込みや先着何名といった案内は、申し込みの開始時期を考えて発信しないと、いっぱいになってしまい不平がある。

失敗した理由

案内などが手元に届くのにはばらつきがあるので、ある程度平等に情報が行きとどくの見計らい申し込み開始時期を設定しなければならないと思う。

失敗例

町の後方にある事業の案内を出してもらい、大勢の参加があるものと思っていたが、思ったより参加が少なかった。

失敗した理由

- 広報が見る人が少ないのではないかな?
- 広報は見ても、多くの記事の中から見つけられなかった?
- そのほかにはPRをしなかったこと

失敗例

一部該当する人には重要な内容のお知らせ事項があったのだが、HPでの情報提供のみとなり混乱したことがあった。

失敗した理由

HPで情報を提供したので、情報を認識してもらえらると思っていただけ、個人的なフォローをしなかった。結果、情報の投げっぱなしで一方通行となった。

失敗例

あるイベント情報がマスコミで取り上げられ、そのチケットの取扱場所として、私の職場が挙げられていたが、現物も情報もともにその時点ではなかった。

失敗した理由

内側の情報伝達より先に外部への公表となったこと。

失敗例

ある会議で決定した内容として議事録を送付したうえで、事業を実施しようとしたが、実際うまく伝わっていなかった。

失敗した理由

毎年開催している事業だったので、「わかるだろう」という思い込みがあった。

失敗例

共同アンテナの地デジ対応について、個別にアンテナを自宅につければ対応可能という話が出回っていたようだが、共同アンテナの建て替えをししないとテレビが見られなくなることが最近判明したらしい。

失敗した理由

共同テレビ組合の勉強不足と、地デジ化に関する周知不足。地域住民の不確かな安心感(たぶん大丈夫だろう)による勉強不足